

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和3年3月25日(2021.3.25)

【公開番号】特開2019-133124(P2019-133124A)

【公開日】令和1年8月8日(2019.8.8)

【年通号数】公開・登録公報2019-032

【出願番号】特願2018-135732(P2018-135732)

【国際特許分類】

G 09 F 19/14 (2006.01)

G 09 F 9/00 (2006.01)

【F I】

G 09 F 19/14

G 09 F 9/00 3 1 3

【手続補正書】

【提出日】令和3年1月28日(2021.1.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

所定の仰角かつ方位角から、所定数の方位角に対応する所定数のコンテンツを表示可能な表示媒体であって、

光を反射する平面部材と、

前記平面部材に、着色部を備え、

前記平面部材を複数の単位セルに区分し、

前記複数の単位セルそれぞれを、前記所定数の方位角に対応する所定数のサブセルに区分し、

所定の方位角に対応する各サブセルに、前記所定の方位角に前記平面部材上で平行な、光を遮蔽する面を有する突状部材が、前記平面部材に垂直に形成され、

前記所定の方位角に対応する前記サブセルにおいて前記着色部に与えられた色と、前記所定数の方位角のうちの前記所定の方位角以外の方位角に対応するサブセルにおいて前記所定の方位角から観察可能な露出部における前記着色部に与えられた色に基づいて、前記所定の方位角に対応するコンテンツを表示する

ことを特徴とする表示媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

光を反射する平面を有する表示面に貼付可能で、所定の仰角かつ方位角から、所定数の方位角に対応する所定数のコンテンツを表示可能な表示支援媒体であって、

シート形状を有し、光を透過するシート状部材を備え、

前記シート状部材を複数の単位セルに区分し、

前記複数の単位セルそれぞれを、前記所定数の方位角に対応する所定数のサブセルに区分し、

所定の方位角に対応する各サブセルに、前記所定の方位角に前記シート状部材上で平行

な、光を遮蔽する面を有する突状部材が、前記シート状部材に垂直に形成され、

前記所定の方位角に対応する前記サブセルにおいて前記表示面に与えられた色と、前記所定数の方位角のうちの前記所定の方位角以外の方位角に対応するサブセルにおいて前記所定の方位角から観察可能な露出部における前記表示面に与えられた色に基づいて、前記所定の方位角に対応するコンテンツの表示を支援する

ことを特徴とする表示支援媒体。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

図4(a)に示すように、観察者は、視点方向と正反射の関係(方位角が180度異なり仰角が同じ)にある光源からの光であって、サブセルB0に入射する光M1は、突状部材に遮られることなくサブセルB0の平面に届き、サブセルB0の平面で反射して反射光M1'が生成される。反射光M1'は、サブセルB0上で、サブセルB0の突状部材と平行である。換言すると、反射光M1'をサブセルB0に投影した線と、サブセルB0の突状部材は、互いに平行である。従って、サブセルB0の突状部材によって遮蔽されず、観察者は、反射光M1'を確認することができる。この反射光M1'は、サブセルB0に着色された色を有する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

図4(b)に示すように、観察者は、視点方向と正反射の関係(方位角が180度異なり仰角が同じ)にある光源からの光であって、サブセルB0に入射する光M4は、サブセルB1の突状部材に遮られ、光M4は、サブセルB0の平面に届かないので、観察者は、光M4の反射光を確認できない。光M5は、突状部材に遮られることなくサブセルB0の平面に届き反射光M5'が生成されるが、反射光M5'は、サブセルB0の突状部材に遮られ、観察者は、反射光M5'を確認できない。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

一方サブセルB1に入射する光M6は、突状部材に遮られることなくサブセルB1の平面に届き、サブセルB1の平面で反射して、反射光M6'が生成される。反射光M6'は、サブセルB1上で、サブセルB1の突状部材と平行である。換言すると、反射光M6'をサブセルB1に投影した線と、サブセルB1の突状部材は、互いに平行である。従って、サブセルB1の突状部材によって遮蔽されず、観察者は、反射光M6'を確認することができる。この反射光M6'は、サブセルB1に着色された色を有する。